

平成18年12月13日  
内閣官房情報セキュリティセンター (NISC)

## 第9回情報セキュリティ政策会議の開催について

### 1. 第9回情報セキュリティ政策会議での検討事項等

本日、「情報セキュリティ政策会議」(議長:内閣官房長官)の第9回会合が開催され、

- (1) 情報セキュリティの観点から見た我が国社会のあるべき姿と政策の評価のあり方について検討が行われ、評価のあり方の基本方針となる「「セキュア・ジャパン」の実現に向けた取組みの評価等及び合理性を持った持続的改善の推進について」の案と、評価のあり方と評価指標の詳細を示した「情報セキュリティの観点から見た我が国社会のあるべき姿及び政策の評価のあり方」の案について議論が行われました。
- (2) また、人材育成・資格制度体系化専門委員会報告書(案)、重要インフラにおける安全基準等の策定・見直し、重要インフラにおける分野横断的演習の取組み、政府機関統一基準見直しの考え方について、報告がなされました。

### 2. 情報セキュリティの観点から見た我が国社会のあるべき姿と政策の評価のあり方について

#### (1) 情報セキュリティ政策のPDCAサイクルと今回議論された事項との関係(別紙1-1参照)

我が国の情報セキュリティ政策については、これまで、3ヵ年の中長期計画である「第1次情報セキュリティ基本計画」と、2006年度の年度計画である「セキュア・ジャパン2006」を策定し、「計画」及び「実施」の部分は機能し始めています。しかしながら、情報セキュリティ政策としての全体の枠組みを完成させるためには、計画自体の見直しも含めた運用サイクルを作ることが不可欠であり、そのための基本的な枠組みと具体的な手順書が以下のア及びイになります。

#### ア 基本的な枠組み

「「セキュア・ジャパン」の実現に向けた取組みの評価等及び合理性を持った持続的改善の推進について(政策会議決定)(案)」の概要(別紙1-2参照)

評価等を実施し、我が国の情報セキュリティ政策の運用サイクルを作るため、**情報セキュリティセンターが情報セキュリティ対策に係る評価等を主体的に推進すること**とし、以下の項目について定めています。

評価指標に基づく評価等のための作業方針  
評価指標に基づくデータの把握及び評価の実施等  
補完調査の実施等  
分析  
報告  
持続的な改善  
年度計画等への反映

## イ 具体的な手順書

「**情報セキュリティの観点から見た我が国社会のあるべき姿及び政策の評価のあり方(政策会議了解)(案)**」の概要(別紙1 - 3参照)

上記アの基本的な枠組みと実施する上での詳細について定める手順書として、以下の事項についてとりまとめています。

**第1次情報セキュリティ基本計画及びセキュア・ジャパン2006策定時に、克服・解決すべき対象として念頭に置いていた諸々の問題等のリスク**

**第1次情報セキュリティ基本計画の計画年限である2009年の初めの時点で、政策の結果として描き出すことを目指した我が国社会のあるべき姿**

合理性を持って評価を行うための**評価指標**やそれを**補完するための調査**及びこれらにより把握した**現状等の分析のあり方**

評価指標等を用いた**持続的改善のあり方**等

## (2) 今後の展開

両案について持ち回り手続きによりパブリックコメント案として決定した後、**速やかにパブリックコメントを実施し**、広く意見を募集した上で確定し、これらに基づいて**評価等を実施していく**予定です。

パブリックコメントの募集は、内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)ホームページ(<http://www.nisc.go.jp/>)において実施します。

「第1次情報セキュリティ基本計画」は、第4回情報セキュリティ政策会議(平成18年2月2日)で決定されました。

(<http://www.nisc.go.jp/conference/seisaku/index.html#seisaku02>)

「セキュア・ジャパン2006」は、第6回情報セキュリティ政策会議(平成18年6月15日)で決定されました。

### 3. 人材育成・資格制度体系化専門委員会報告書(案)について

#### (1) 人材育成・資格制度体系化専門委員会報告書(案)

7月25日の第7回会合において設置を決定した人材育成・資格制度体系化専門委員会(委員長:西尾章治郎 大阪大学教授(文部科学省科学官))における検討の成果として本年11月30日に公表され、現在パブリックコメントの募集を実施している人材育成・資格制度体系化専門委員会報告書(案)について報告がなされました。

#### (2) 今後の展開

この報告書案についてはパブリックコメントを踏まえて必要な修正を行い、2007年1月中旬に正式決定がなされる予定です。

人材育成・資格制度体系化専門委員会報告書(案)の具体的な内容につきましては([http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/training\\_report.pdf](http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/training_report.pdf))において公表していますのでご参照下さい。

### 4. 重要インフラにおける安全基準等の策定・見直しについて

#### (1) 重要インフラにおける安全基準等の策定・見直し状況(別紙2参照)

重要インフラ所管省庁の協力を得て実施した、「安全基準等」策定・見直し状況の調査結果について報告がなされました。調査の結果、重要インフラ10分野のうち9分野において、「安全基準等」の策定・見直しが完了しており、残る医療分野についても本年度中に見直しが完了予定であることがわかりました。

#### (2) 今後の展開

本年度末を目処に「安全基準等」の評価を実施する予定です。

### 5. 重要インフラにおける分野横断的演習の取組みについて

#### (1) 重要インフラ分野横断的演習の概要(別紙3参照)

重要インフラ分野横断的演習は、想定される具体的な脅威シナリオの類型をもとに、テーマを設定し、分野横断的に実施するもので、重要インフラ事業者におけるIT障害に対する官民の情報共有、連絡・連携のための仕組みの実効性を検証し、

緊急時の対応力の強化に資するとともに、高度なITスキルを有する人材育成など、情報セキュリティ基盤の強化に資するものです。

### (2) 2006年度における取組み状況

2006年度上半期に、研究的演習を実施し、我が国におけるIT障害に関する分野横断的な初めての取組みとして、演習実施の概念及び演習手法の理解、机上演習に向けた課題設定やシナリオづくり等を行いました。この研究的演習を踏まえ、2007年2月上旬を目処に、机上演習を実施する予定です。

### (3) 今後の展開

2007年度以降は、官民の連絡・連携体制の機能の検証・向上のため、「機能演習」を実施する予定です。

## 6. 政府機関統一基準見直しの考え方について

2005年12月に策定された政府機関統一基準の見直しのスケジュールについて別紙4のとおり報告がなされました。

「政府機関統一基準(2005年12月版(全体版初版))」の具体的な内容につきましては(<http://www.nisc.go.jp/active/general/pdf/k303-052.pdf/>)において公表していますのでご参照下さい。

### 【本件に関する問い合わせ先】

内閣官房情報セキュリティセンター

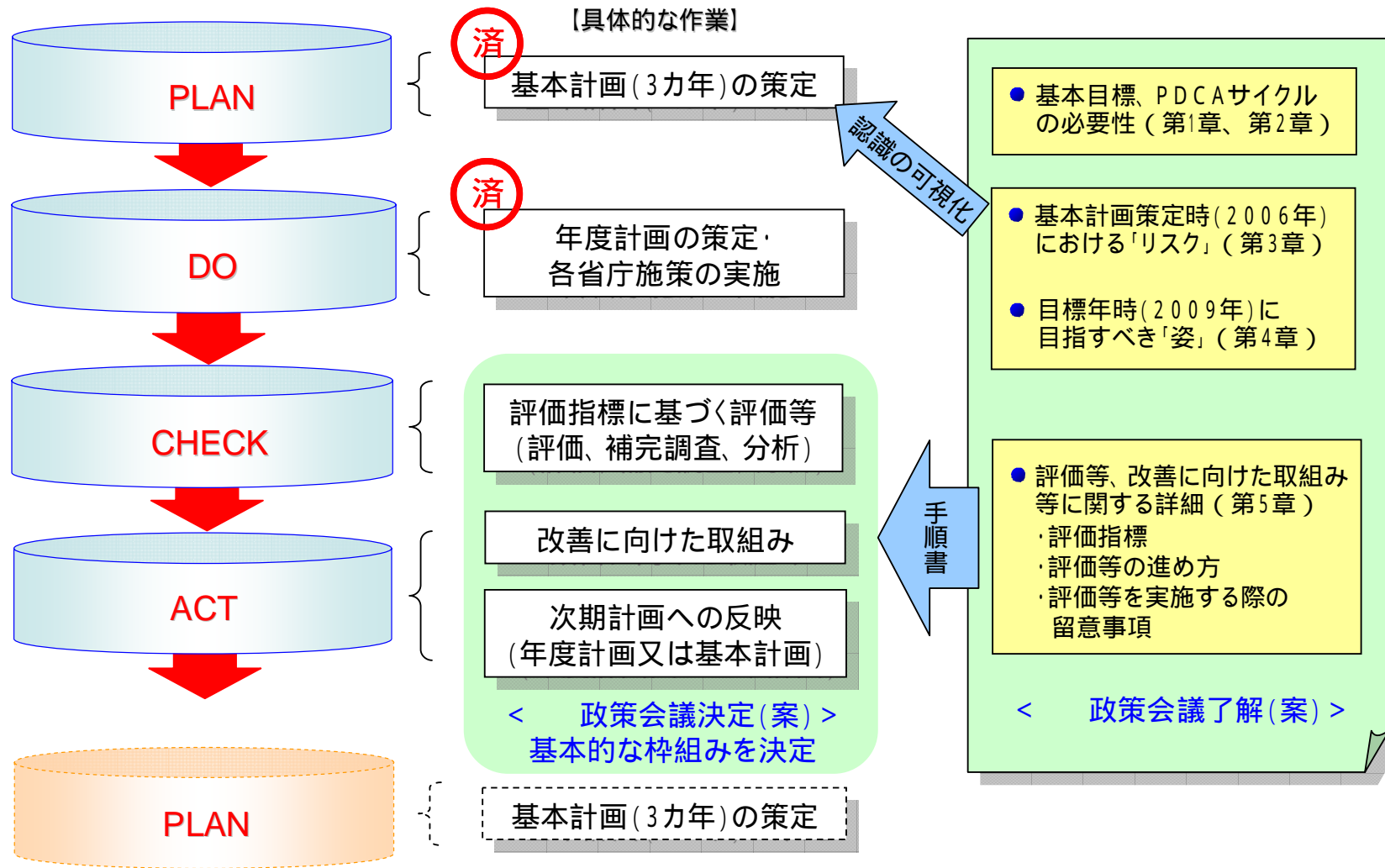
山口補佐官、小林参事官、中田参事官補佐

電話 03-3581-3768(センター代表)

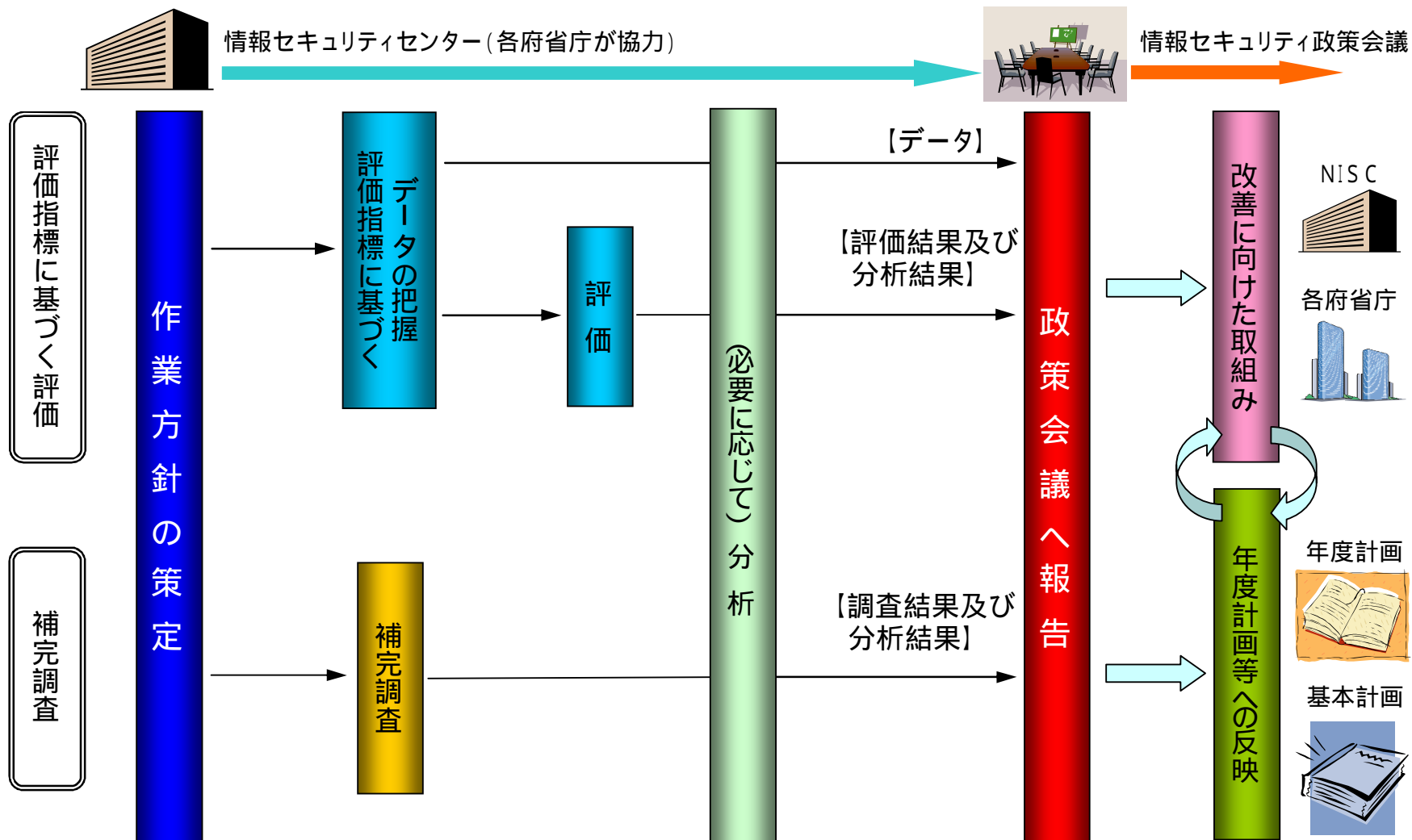
「情報セキュリティ政策会議」は、平成17年5月30日のIT戦略本部決定によって設置されました(<http://www.nisc.go.jp/press/pdf/050530seisaku-press.pdf/>)。

本日の会議資料は、内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)ホームページ(<http://www.nisc.go.jp/>)において公表しています。また本日の議事要旨を同ホームページにて後日公表いたします。

# 情報セキュリティ政策のPDCAサイクルと今回決定する事項等の関係



# 評価指標に基づく評価等の基本的な枠組み



## 政策会議了解(案)の内容 (2006年時のリスク、2009年時の姿、評価指標等)

### 2006年時のリスクの例

・・・適切な対策の実施や事業継続性確保等の取組みが不十分であると、社会に多大な被害や損失が生じる可能性がある。・・・顕在化した問題に対する対症療法にとどまりがちになり、新たな脅威への対応が後手にまわって被害が予想外に拡大する可能性がある。・・・外部脅威による攻撃、改ざん又は破壊等によって、行政サービスのオンライン・サービスが停止する可能性がある。

### 2009年時の姿の例

・・・あらゆる主体が各種の取組みを推進したことにより、リスクがITの信頼性を維持できる水準に抑えられ、・・・IT利用者は、安心して利用しており、・・・リスクに対する対応策を先取りの考え、根本からリスクを解決する方策を検討する姿勢が定着している。・・・世界最高水準、すなわち他の主体及び諸外国にとって模範となるような政府機関統一基準が確立されている。

### 評価指標の例


- 【政府機関】 情報セキュリティマネジメント指標(計画、周知、実施、評価と改善に関して指標を設定)  
情報セキュリティ対策実施状況評価指標
- 【重要インフラ】 「行動計画」に定める施策の進捗度合い指標
- 【企業・個人】 企業及び個人の情報セキュリティに関する意識、対策、結果面についての指標  
(例:情報セキュリティポリシーの策定状況、情報セキュリティ被害経験、セキュリティの言葉の認知度等)

### その他の留意事項

- ・評価指標に基づく評価が困難な事項に関して、補完調査によって状況を把握。
- ・評価結果、補完調査結果等について、背景などを明らかにするために分析を実施。
- ・政策会議は、各府省庁が新しいリスク等に対して効率的・効果的な対応を行えるよう、必要な取組みを推進。


# 重要インフラにおける安全基準等の策定・見直し状況

重要インフラ所管省庁の協力を得て、「安全基準等」策定・見直し状況の調査を行った結果、以下の通り、策定・見直しがなされつつあることを確認(2006年11月現在)



**情報セキュリティ政策会議第4回会合**  
(2006年2月2日)

「重要インフラにおける情報セキュリティ確保に係る「安全基準等」策定にあたっての指針」を決定



**重要インフラ**

必要な又は望ましい情報セキュリティ対策の水準について「安全基準等」に明示



分野	安全基準等の名称(発行主体)	策定・見直し状況
情報通信	電気通信事業法、電気通信事業法施行規則、事業用電気通信設備規則等(関連する告示を含む) 情報通信ネットワーク安全・信頼性基準(総務省) 電気通信分野における情報セキュリティ確保に係る安全基準(第1版) [ISeCT] ( 1)	実施済
	放送における情報インフラの情報セキュリティ確保に関わる「安全基準等」策定ガイドライン[日本放送協会(NHK)、(社)日本民間放送連盟]	実施済
金融	金融機関等におけるセキュリティポリシー策定のための手引書[FISC] ( 2) 金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書[FISC] 金融機関等におけるコンティンジェンシープラン策定のための手引書[FISC]	実施済
航空	航空運送事業者における情報セキュリティ確保に係る安全ガイドライン(国土交通省) 航空管制システムにおける情報セキュリティ確保に係る安全ガイドライン(国土交通省)	実施済
鉄道	鉄道分野における情報セキュリティ確保に係る安全ガイドライン[鉄道事業者等]	実施済
電力	電力制御システム等における技術的基準・運用基準に関するガイドライン[電気事業連合会]	実施済
ガス	製造・供給に係る制御系システムの情報セキュリティ対策ガイドライン[(社)日本ガス協会]	実施済
政府・行政サービス	地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン[総務省]	実施済
医療	医療情報システムの安全管理に関するガイドライン[厚生労働省]	見直し中( 3)
水道	水道分野における情報セキュリティガイドライン[厚生労働省]	実施済
物流	物流分野における情報セキュリティ確保に係る安全ガイドライン[国土交通省]	実施済

( 1) ISeCT: 電気通信分野における情報セキュリティ対策協議会 ( 2) FISC: (財)金融情報システムセンター  
( 3) 今年度中に見直し完了予定

別紙2

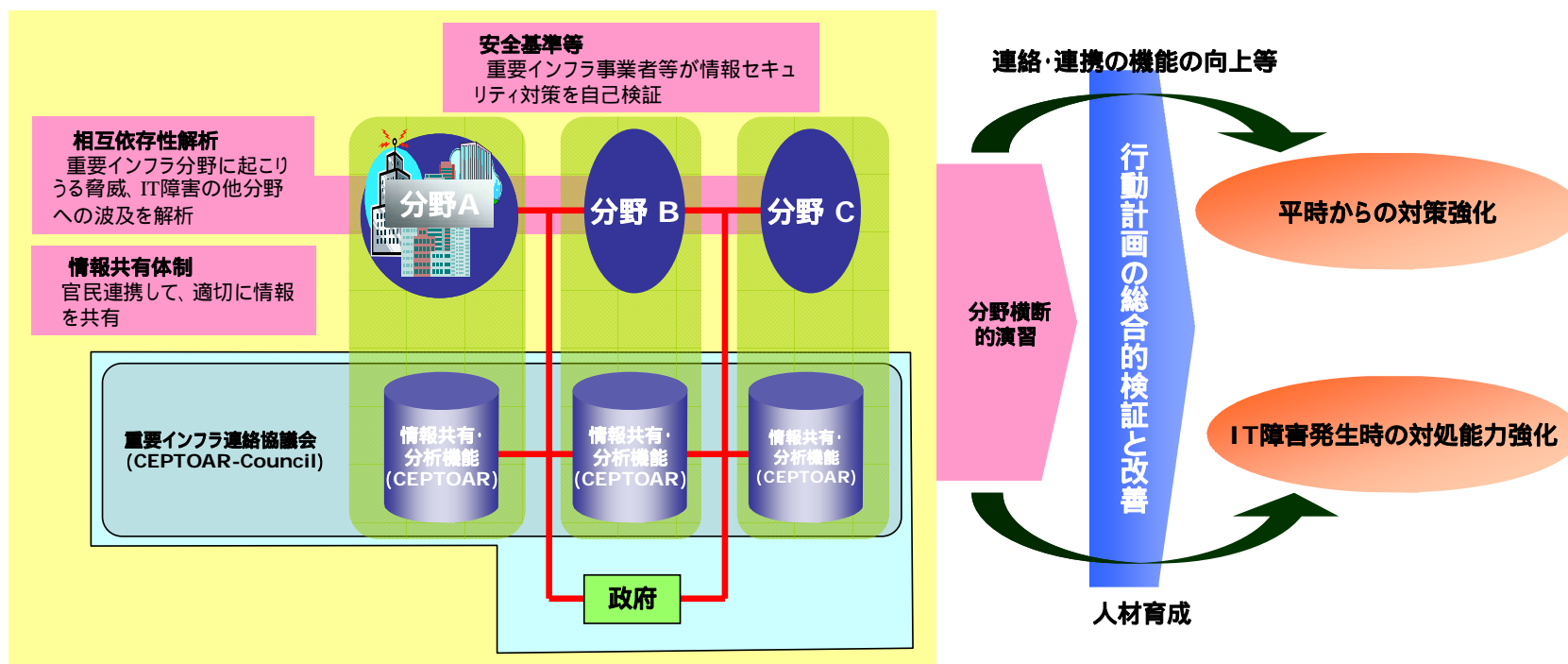


## 分野横断的演習の概要

「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画(2005年12月13日情報セキュリティ政策会議決定)」を踏まえ、段階的に実施。2006年度においては「研究的演習」及び「机上演習」を実施し、CEPTOARの整備等に資するとともに、2007年度からは「機能演習」を実施。

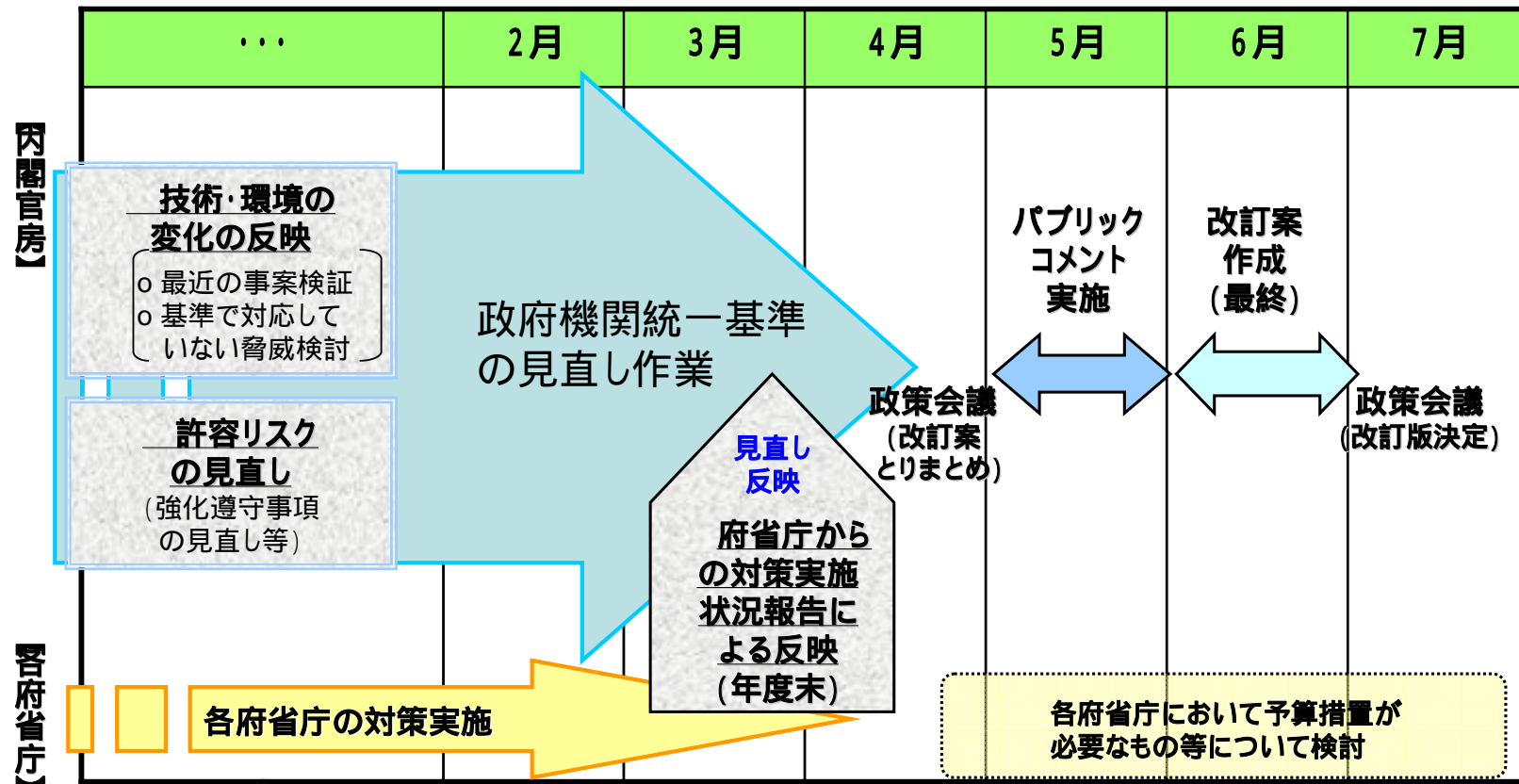
想定される具体的な脅威シナリオの類型をもとに、テーマを設定し、分野横断的に実施。

重要インフラ事業者におけるIT障害に対する官民の情報共有、連絡・連携のための仕組みの実効性を検証し、緊急時の対応力の強化に資するとともに、高度なITスキルを有する人材育成など、情報セキュリティ基盤の強化に資する。



# 政府機関統一基準の平成18年度見直しについて

政府機関統一基準については、政府機関の情報セキュリティ水準を適切に維持していく観点から定期的に見直しを行うこととされており、技術・環境の変化等を踏まえるとともに、各府省庁の情報セキュリティ対策の対策実施状況等を見直しに反映させるため、下記のスケジュールで見直しを実施



別紙4